



生活の党公認

なかむら
中村てつじ

誰もが人間らしく 生きられる社会へ

夫婦共に長時間労働、
女性は特に出産・育児・介護でも負担をかけられがち。
このような状況を放置しては少子化を止めることはできません。
また、私は長らく社会的少数者の問題に取り組んで参りました。
経済がグローバル化し、個人が直接海外との競争にさらされる世の中
では、いつ多数派の人たちが少数派になるかもしれません。
二十一世紀の国家の役割は、
国民一人ひとりにかかるリスクを減らすことです。
安倍政権は全く逆のことをしています。私は、この選挙を、
「誰もが人間らしく生きられる社会」を作る、第一歩の選挙にしたい。
どうか、中村てつじに、あなたの一票を託して下さい。

<http://tezj.jp/>

生活の党

脱原発こそが成長戦略

福島第一原子力発電所の事故は、まだ収束には至っていません。子どもたちに害を及ぼす放射線を十万年も出し続ける使用済み核燃料の問題を放置して、原発の再稼働はすべきではありません。次の世代にツケを残すからです。

むしろ脱原発に舵を切れば、再生可能エネルギー、廃炉、高効率火力発電所への置き換えなど、二十一世紀型のビジネスを、日本が世界に先駆けて行えるようになりま

アベノミクスは失敗!

なぜ今、総選挙なのか。来春には経済がもつと悪くなるからです。今春8%に上がった消費税は、来春から納税が始まります。中小企業は、納税で手元の資金がなくなり、社員の採用を控えたり、社員削減などもせざるを得なくなり、収入が増えないのに、物価だけが上がる。アベノミクスは失敗だったと誰もが分かるようになります。

若者は仕事を...お年寄りの面倒を...

今やるべきは教育と社会保障の充実です。子育て世代が一番負担に感じている教育費と住宅費のところで思い切った負担軽減策を行います。また、医療・介護・子育て支援など、社会保障の充実には、働く人たちの雇用を増やし、給料を上げます。お年寄りが安心して老後を迎える体制も整います。

プロフィール

- 1971年7月24日生まれ 2000年 衆議院議員当選(奈良2区-近畿比例代表)
- 生駒市出身 2003年 衆議院議員当選(奈良2区)
- 私立白百合幼稚園卒業 2007年 参議院議員当選(奈良選挙区)
- 生駒市立生駒小学校卒業 2009年 法務大臣秘書官
- 東大寺学園中学校卒業 2011年 民主党 政策調査会副会長
- 東大寺学園高等学校卒業 2013年 生活の党 奈良県第2区総支部長
- 京都大学法学部卒業

中村てつじ事務所

〒639-1123 奈良県大和郡山崎町748-1 日伸ビル1階 FAX.0743-59-2228

美しく、強く、成長する国、日本を。安心して住み、学び、働ける奈良県を。 高市早苗は、強い信念とともに「確かな成長」を実現します!!



総務大臣 自由民主党公認

たかいち さなえ
高市早苗

ST For Japan, With Nara. 実感を、その手に。

前回の衆議院選挙で、自民党は「安定した政治」「責任ある政治」「信頼できる政治」を取り戻す決意をお訴え致しました。理念なき離合集散や「無責任な甘言公約」による内政・外交の混迷が長期化すれば、私たちの大切な日本が壊されてしまうと考えたからです。

皆様のお力によって政権が復帰させていただき、先ずは深刻な状況にあった景気の底割れを防ぐべく、前政権の「縮小均衡の分配政策」から「成長による富の創出」へと基本方針を大転換し、金融政策、財政政策、成長戦略に懸念を取り組んでまいりました。

この2年間で各種経済指標は劇的に改善しましたが、「地方では、実感できない」「家計が苦しい」という切実なお声を伺います。

日本列島の隅々まで活発な経済活動が行き渡り、家計で景気回復を実感していただける日まで、強力で経済対策を実行します。「確かな成長」こそが、豊かな福祉社会を実現する道です。

日本は今、力強く動き始めたところです。ようやく、長年苦しんだデフレから脱却するチャンスを手に入れたところです。もう、後戻りをさせたくはありません。皆様の大切な一票を、高市早苗にお託し下さい!

地方で実感! 家計で実感!

「確かな成長」と「暮らしの安心」を創る

- ◆ 絶え間なくイノベーションが起る国創りと立地競争力強化のために、税制改正、研究開発強化、事業化を阻む規制の改革等を続行します。
- ◆ インフラ輸出 観光立国政策、クールジャパン戦略を更に進めます。
- ◆ 地域の原材料を活用する地域密着型企業の立ち上げ、企業の地方立地、地方と世界市場を直接つなぐ販路開拓を推進します。
- ◆ 地域を支える中小企業、小規模事業者、商店街を応援します。
- ◆ 木質バイオマスなど分散型エネルギーインフラ整備を促進します。
- ◆ 農林水産業の成長産業化と森林整備を加速化します。
- ◆ 子育て中の方、シニア世代の方、障がいをお持ちの方などが、生活スタイルに応じて自宅で働けるテレワークを強力に推進します。
- ◆ 「受益と負担」のバランスを確保し、安心して子育てができる環境の整備、安定的な社会保障制度(医療・介護・年金等)を確立します。
- ◆ 「定住自立圏」や「集落ネットワーク」の形成により、地域の生活基盤(医療・福祉・教育・公共交通等)と雇用機会を確保します。

世界最高水準の「教育立国」を創る

- ◆ 世界トップレベルの学力と規範意識を持つ子供たちを育てます。
- ◆ 幅広い世代を対象に、「キャリア教育」「情報教育」「領土教育」「食育」「防災教育」「防犯教育」、スポーツ文化芸術活動を応援します。

「国民の生命と財産、国土と資源、国家の主権と名誉を守り抜ける国」を創る

- ◆ 社会インフラの老朽化対策、耐震化、集中豪雨対策を急ぎます。
- ◆ 消防、警察、防衛、海上保安・入国管理の体制を強化します。
- ◆ 食糧・資源エネルギーの自給率向上を戦略的に進めます。
- ◆ 国際放送の充実や外交力の強化により、日本の魅力、日本人の素晴らしさを、優れた技術力、正確な政府見解などを世界に発信します。
- ◆ 時代のニーズに応えられる「新しい日本国憲法」を制定します。

高市早苗の歩み

- ★ 1961年(昭和36年)生まれ
- ★ 奈良県立欽陵高校卒業
- ★ 神戸大学経営学部卒業
- ★ (財)松下政経塾卒業
- ★ 近畿大学経済学部教授

- 衆議院議員(6期)
- 衆議院文部科学委員長
- 衆議院憲法調査会小委員長

- 自民党政務調査会長
- 自民党日本経済再生本部長

- 通商産業政務次官
- 経済産業副大臣(3内閣)
- 内閣府特命担当大臣

◎ 総務大臣(現職)

<https://www.sanae.gr.jp>

安倍政権の暴走ストップ・政治を変える一票を日本共産党へ



日本共産党

のぶたけ
いずみ 信太郎

消費税増税、集団的自衛権...暴走を続けてきた安倍内閣が国民に追い詰められての解散・総選挙。暴走ストップ、政治を変える絶好のチャンスです。

「対決・対案・共同」——日本共産党のいずみ信太郎は、非正規労働を経験した者として雇用を守ってがんばります。

日本政治の5つの転換

消費増税 10%

「先送り」ではなくキツパリ中止
「消費税に頼らない別の道」を

(財源)

● 富裕層と大企業に適切な負担を
● 大企業の内部留保を活用し
● 国民の所得増で税収を増やす

アベノミクス

「格差拡大」の暴走ストップ
「暮らし第一で経済たてなおす」

集団的自衛権

「戦争する国」づくり許さない
「憲法9条生かした平和外交を」

原発

「原発ゼロの日本」へ
● 再生可能エネルギーへの大転換を
● 新基地建設は中止せよ

沖縄基地

「基地のない平和な島へ」

企業・団体献金禁止 政党助成金の廃止を

なんの苦勞もせずに、政党助成金や企業献金で運営する党では国民の苦しみは分かりません。

日本共産党は、企業・団体献金も、政党助成金も受け取らないから、堂々と不正と対決。ブラック企業問題なども徹しく追及できます。

清潔一番、皆さんと力を合わせる党だから、政治を動かすことができます。

代表は 日本共産党と

お書き下さい

● 5つの転換の詳細はホームページで
日本共産党(検索) <http://www.jcp.or.jp/>

いずみ信太郎 1983年生まれ。藤影きもの専門学校卒。ホテル勤務など。現在、党北和地区国政対策委員長。生駒市在住。

衆議院議員総選挙

投票日

12月14日(日曜日)

投票時間は、**午前7時から午後8時**までです。

(※一部地域を除く)

投票用紙の記入方法

- 小選挙区は **候補者名** を記入
- 比例代表は **政党名** を記入

○ 期日前投票・不在者投票は

12月13日(土)まで

(原則：午前8時30分～午後8時)

※詳しくは市町村選挙管理委員会にお問い合わせください

- 身体障害者手帳などをお持ちの方で身体的障害により投票所へ行けない方は、障害の程度により郵便等による不在者投票ができる場合があります。(事前の申請が必要です。)
- 自ら文字を書くことができない方は、代理人による記載ができる場合があります。
詳しくは市町村選挙管理委員会にご相談ください

○ ホームページ、ブログ、ツイッター、フェイスブック等を使って選挙運動を行う際は、下記にご留意ください。

- ・ 新たな掲載は、投票日の前日までです。
- ・ ホームページ等には、電子メールアドレスなどの表示が必要です。
- ・ 選挙運動用電子メールは、候補者・政党等以外からの送信はできません。
- ・ 未成年者の選挙運動は禁止されています。インターネットによる選挙運動もできません。
- ・ 詳しくは、総務省ホームページをご覧ください。 [ネット選挙運動総務省](#) [検索](#)



投票で 一緒に築こう 明るい未来

奈良県選挙管理委員会